

令和元年度 公共事業再評価調書

担当部/課名	都市整備部道路建設課
--------	------------

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着手 (5年) <input checked="" type="radio"/> 長期間継続 (5年) <input type="radio"/> 再評価後 (5年) <input type="radio"/> その他 ()
---------	--

I 事業概要

事業種別	道路整備事業	事業方法	<input checked="" type="radio"/> 国補助 <input type="radio"/> 県補助 <input type="radio"/> 市単独																																								
事業名	くらしの道道路整備事業(石江沖館2号線)	事業箇所	青森市富田三丁目～ 青森市沖館五丁目																																								
採択年度	平成 26 年度 (用地着手 平成 28 年度 / 工事着手 平成 27 年度)																																										
終了予定年度	令和 5 年度																																										
事業目的	<p>市道石江沖館2号線は、国道7号及び280号に囲まれた富田地区における補助幹線道路であるが、歩道の整備されていない狭隘な路線となっている。本路線には車道空間に電柱が数多くあり、車両のすれ違いや冬期間の除排雪作業の支障となっている。また、付近の小・中学校の通学路としても利用されていることから、安全で快適な道路交通環境を整備するために、側溝の機能回復、舗装補修、電力柱と電話柱の片側集約再配置を行うものである。</p>																																										
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>当初計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 計画延長</td> <td>700.0 m</td> <td>700.0 m</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>② 計画幅員</td> <td>6.0 m</td> <td>6.0 m</td> <td>m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業量や総事業費の増減に係る説明等を記入。</p> <p>()</p>			区 分	当初計画時	再評価時	増 減	① 計画延長	700.0 m	700.0 m	m	② 計画幅員	6.0 m	6.0 m	m																												
区 分	当初計画時	再評価時	増 減																																								
① 計画延長	700.0 m	700.0 m	m																																								
② 計画幅員	6.0 m	6.0 m	m																																								
事業費	<p>(単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>～平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>小計</th> <th>令和2年度～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○事業費</td> <td>24</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>53</td> <td>120 (a)</td> <td>58</td> <td>178 (e)</td> </tr> <tr> <td> うち①用地費</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1 (b)</td> <td>0</td> <td>1 (f)</td> </tr> <tr> <td> ②工事費</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>30</td> <td>51</td> <td>109 (c)</td> <td>55</td> <td>164 (g)</td> </tr> <tr> <td> ③その他</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>10 (d)</td> <td>3</td> <td>13 (h)</td> </tr> </tbody> </table>				～平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	小計	令和2年度～	合計	○事業費	24	13	30	53	120 (a)	58	178 (e)	うち①用地費	1	0	0	0	1 (b)	0	1 (f)	②工事費	16	12	30	51	109 (c)	55	164 (g)	③その他	7	1	0	2	10 (d)	3	13 (h)
	～平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	小計	令和2年度～	合計																																				
○事業費	24	13	30	53	120 (a)	58	178 (e)																																				
うち①用地費	1	0	0	0	1 (b)	0	1 (f)																																				
②工事費	16	12	30	51	109 (c)	55	164 (g)																																				
③その他	7	1	0	2	10 (d)	3	13 (h)																																				

II 評価指標及び項目別評価

1 事業の進捗状況

事業の進捗状況	計画全体に対する進捗	
	○事業費割合	67.4 % [(a)/(e)]
	うち①用地費	100.0 % [(b)/(f)]
	②工事費	66.5 % [(c)/(g)]
	③その他	76.9 % [(d)/(h)]
説 明	<p>本事業では、路線全体での用地買収は行っていないものの、一部ボトルネックとなっていた箇所については平成28年度に用地買収し、用地取得率は100パーセントとなっている。</p>	
問題点 解決見込み		
事業効果 発現状況	<p>側溝の改修工事に併せて電力柱と電話柱の片側集約再配置もっており、工事完了後は直ちに効果を発現している。</p>	

2 社会経済情勢の変化

必要性	地区内の補助幹線道路として交通量が多いほか、付近の小・中学校の通学路として歩行者交通量も多いことから、安全で快適な道路交通環境を確保するため整備が必要である。
適時性	本路線では過去に道路冠水が発生しているが、道路排水の流末となる富田ポンプ場が本年4月から供用開始となっており、雨水対策としても早期の完成が望まれている。
効率性	本路線の整備により、区域内の移動時間の短縮や除排雪作業の効率化が見込まれる。

3 費用対効果の分析

費用便益比	区 分	主 な 項 目	
	費用項目(C)	① 事業費	181
	総費用	181	百万円
便益項目(B)	① 走行時間短縮	236	百万円
	② 走行経費減少	9	百万円
	総便益	245	百万円
費用便益比(B/C)	費用便益比(B/C)	1.354	
	補正費用便益比(B/C* α)	1.934	

※費用及び便益は現在価値化したもの
 ※地域補正係数(α): 1.429(青森地方生活圏)
 ※費用対効果分析の根拠等
 (「費用便益分析マニュアル」(平成30年2月、国土交通省道路局、同都市局)
 ・「道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要項」(平成22年3月、青森県県土整備部道路課))

4 コスト縮減や環境配慮などへの検討

コスト縮減等	側溝の基礎材や舗装復旧におけるアスファルトや路盤材には再生材を使用し、環境負荷の低減とコスト縮減に努めている。
--------	---

III 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 計画変更して実施 <input type="radio"/> 事業中止 <input type="radio"/> 事業休止
評価理由等	・当該路線は、富田地区における補助幹線道路として道路交通環境の向上を図ることが必要であり、費用対効果を踏まえ継続実施すべきと考える。